

報道関係各位

一般社団法人日本オーディオ協会

平成29年度 第22回「音の匠」顕彰

一般社団法人日本オーディオ協会（会長 校條 亮治）は、音楽、オーディオ、レコードなど「音」の文化について多くの人々に認識していただき、また音楽とオーディオ産業発展のために、一般社団法人日本レコード協会、一般社団法人日本音楽スタジオ協会などと共に、1994年に12月6日を「音の日」と制定しました。

この12月6日は発明王トーマス・エジソンが1877年、世界で初めて錫箔円筒式蓄音機「フォノグラフ」を発明した日であり、音を記録し再生するオーディオの誕生日ということになります。

「音の日」の記念行事の一つとして、日本オーディオ協会は1996年より、「音」および「音楽」を通じて、文化創造や社会貢献に卓越した能力を持ち、実践している「個人」、また「組織」を「音の匠」として顕彰し、広く一般の方々に素晴らしい音の世界を認識していただく活動をつづけております。

第22回目にあたる本年度は、アビーロードスタジオやビクタースタジオなど、国内外の著名音楽スタジオ設計に長年にわたり携わり音楽録音文化に多大な貢献をされた、豊島 政實（とよしま まさみ）氏を「音の匠」として顕彰いたします。

平成29年度「音の匠」

豊島 政實（とよしま まさみ）氏

豊島総合研究所 所長
四日市大学 名誉教授
博士（学術）

以上

（添付資料）

1. 顕彰者プロフィール
2. 「音の匠」受賞者一覧

データ資料は報道関係者様専用ダウンロードサイトよりご利用いただけます。

アドレス <http://www.jas-audio.or.jp/press/>

